

第116回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 64 問

64 24歳の女性。持続する発熱を主訴に来院した。2か月前に37℃台後半の発熱が出現した。その他に症状はなかったが、発熱が持続するため受診した。体温37.8℃。脈拍92/分、整。血圧110/72 mmHg。眼瞼結膜と眼球結膜に異常を認めない。右頸部に動脈の走行に一致した圧痛と血管雑音を聴取する。心音と呼吸音に異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。表在リンパ節を触知しない。血液所見：赤血球数392万、Hb 9.8 g/dL、Ht 30%、白血球14,300、血小板42万。血液生化学所見：尿素窒素13 mg/dL、クレアチニン0.5 mg/dL。CRP 8.0 mg/dL。

この病態を評価するうえで**適切でない**のはどれか。

- a 造影CT
- b 動脈生検
- c 造影MRI
- d FDG-PET
- e 頸動脈超音波検査

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。